

2006年度 第1四半期（1Q） 連結決算

2006年 7月31日

株式会社 **東芝**

代表執行役専務 村岡 富美雄

注意事項

- この資料には、東芝の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- また、多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

今回の決算のポイント

- 2001年度の四半期決算開示以来、第1四半期の当期純損益が初の黒字化達成
 - +40億円(2005年度第1四半期 -89億円)**
- 第1四半期での社会インフラセグメントの営業損益が黒字化達成
 - +28億円(2005年度第1四半期 -100億円)**
- 全セグメントで増収、営業損益改善
 - 売上高14,528億円(+12%)、営業損益208億円(+227)**
- ウェスチングハウス社買収の資金手当開始のため、DEレシオが一時的に上昇
 - (2006年度3月末 92%→2006年度6月末 119%)**

概要

摘 要	06年度	05年度	対05年度	
売 上 高	14,528	12,988	1,540	112%
営 業 損 益 %	208 1.4%	-19 -0.1%	227 1.5%	-
税 引 前 損 益 %	219 1.5%	-36 -0.3%	255 1.8%	-
当 期 純 損 益 %	40 0.3%	-89 -0.7%	129 1.0%	-
基 本 的 1 株 当 た り 当 期 純 損 益	1円26銭	△2円77銭	4円03銭	-

単位：億円

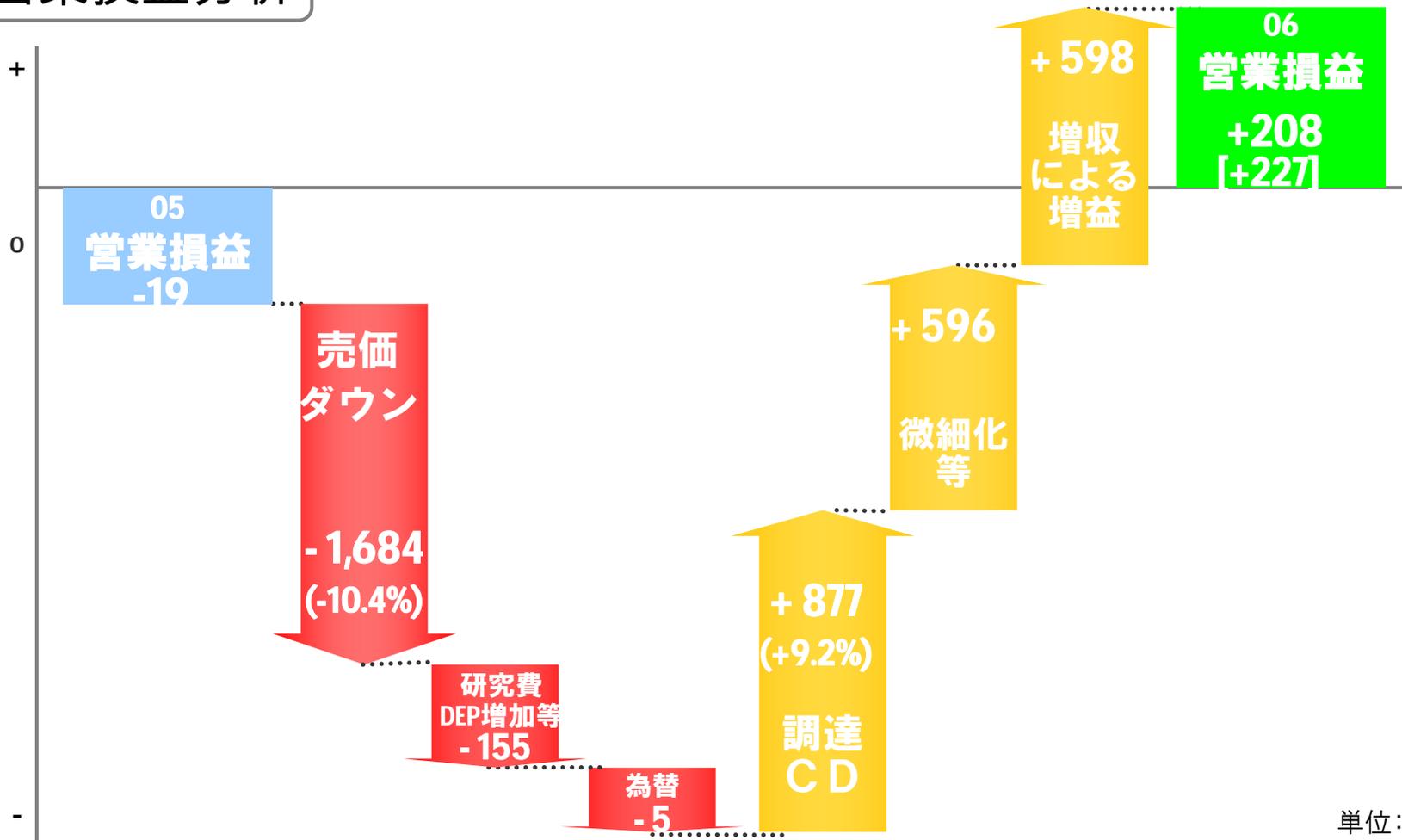
セグメント情報

売上高	06年度	05年度	対05年度	
デジタルプロダクツ	6,234	5,186	1,048	120%
電子デバイス	3,235	2,946	289	110%
社会インフラ	3,687	3,619	68	102%
家庭電器	1,749	1,612	137	108%
その他	867	815	52	106%
連結計	14,528	12,988	1,540	112%

営業損益	06年度	05年度	対05年度	
デジタルプロダクツ %	19 0.3%	6 0.1%	13 0.2%	302%
電子デバイス %	158 4.9%	106 3.6%	52 1.3%	150%
社会インフラ %	28 0.8%	-100 -2.8%	128 3.6%	-
家庭電器 %	-25 -1.4%	-47 -2.9%	22 1.5%	-
その他 %	32 3.7%	15 1.8%	17 1.9%	219%
連結計 %	208 1.4%	-19 -0.1%	227 1.5%	-

単位:億円

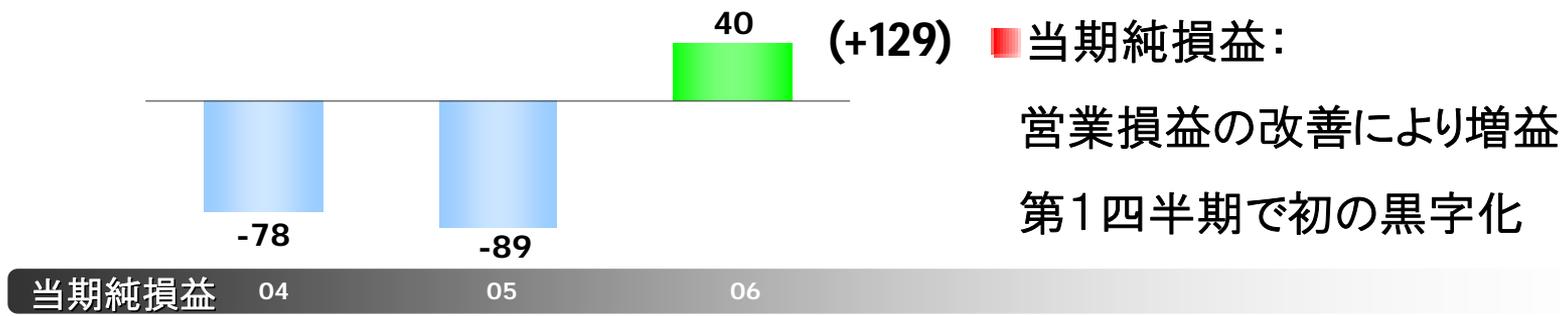
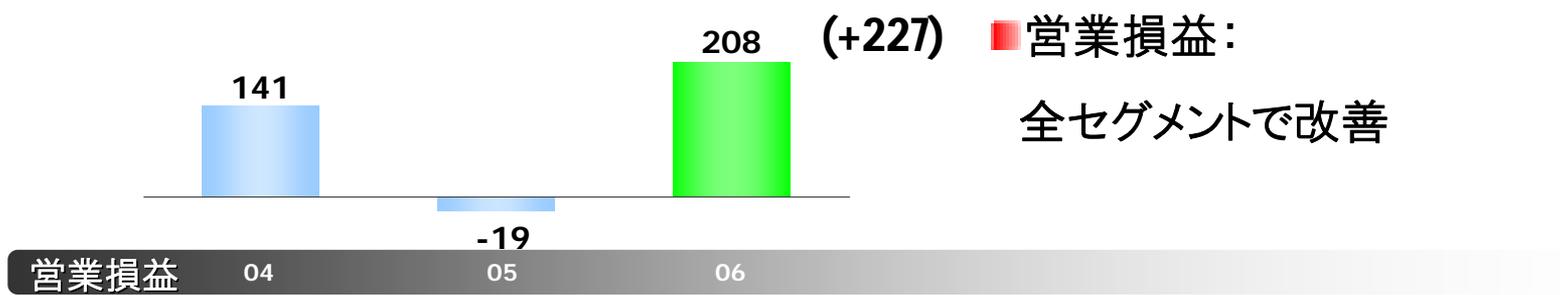
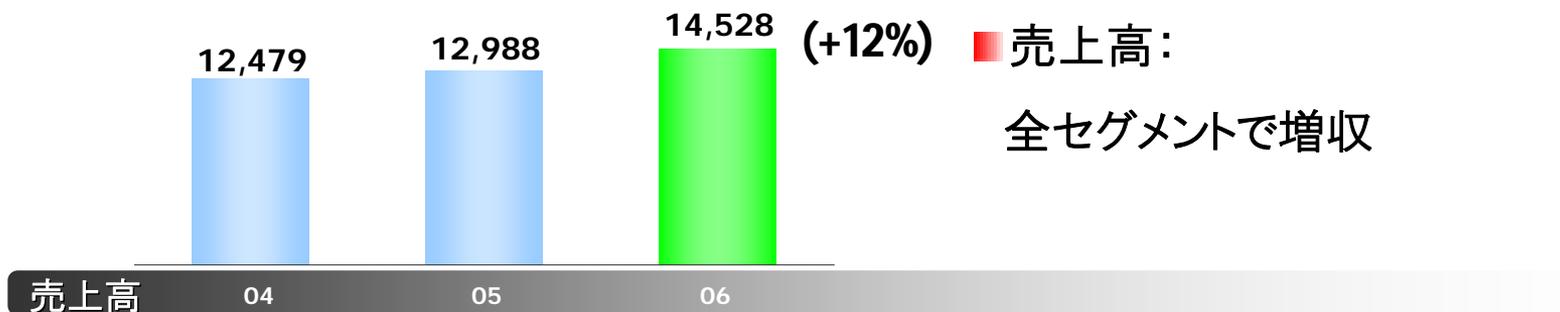
営業損益分析



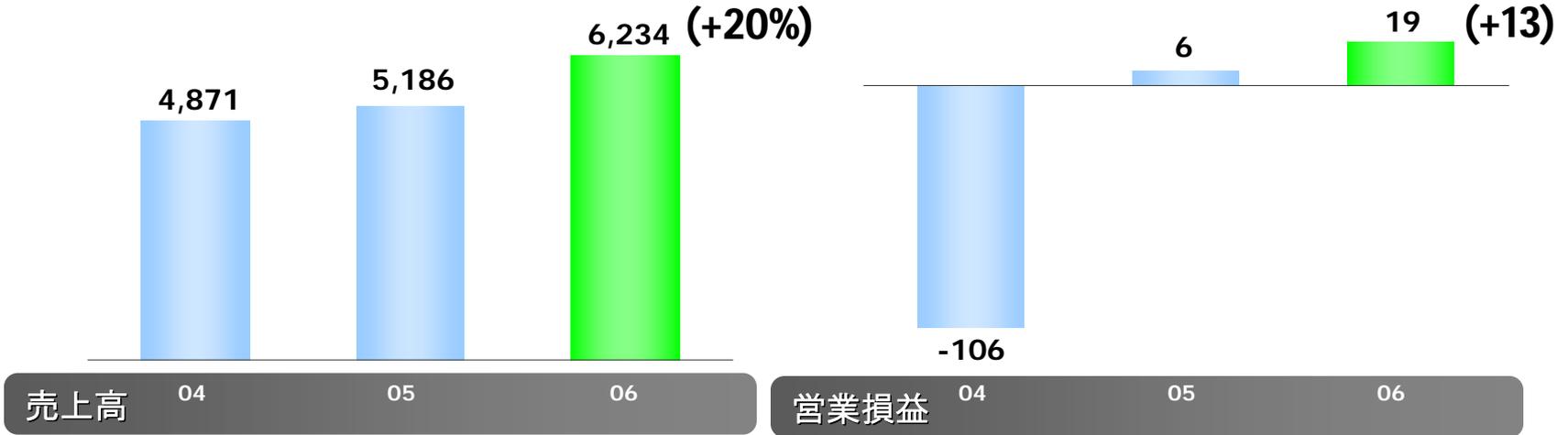
単位: 億円
(対05年度)

決算レビュー

単位: 億円
(対05年度)



デジタルプロダクツ

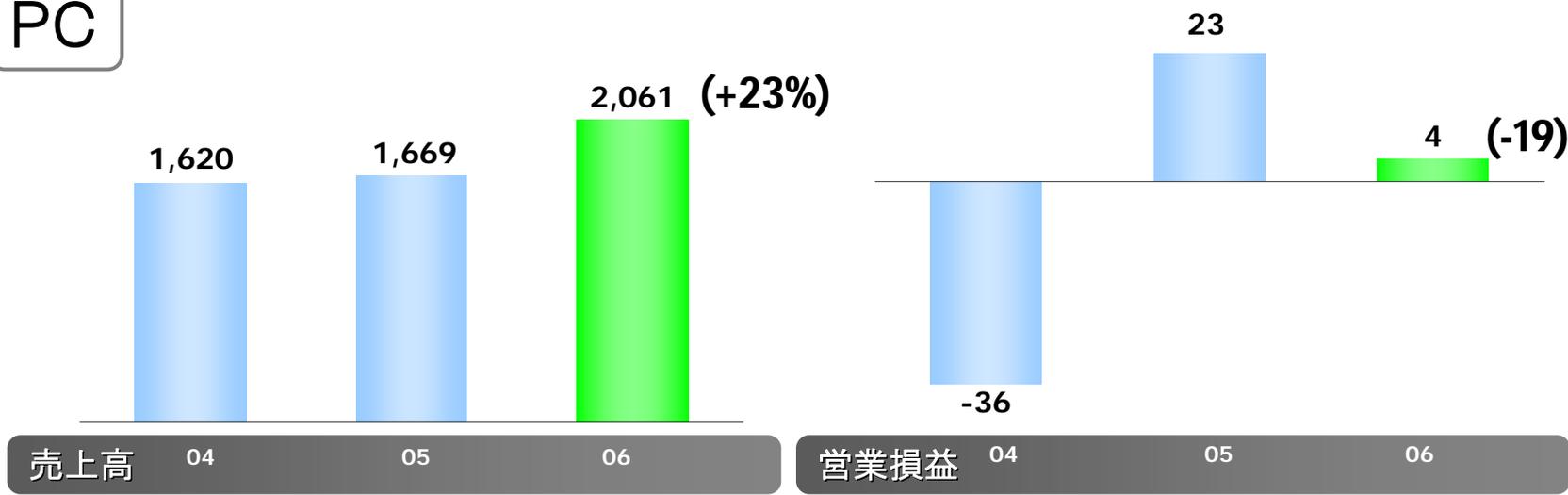


■ PC事業、テレビを中心としたデジタルメディア事業の売上が伸長したことにより、増収

■ PC事業は低調だったものの、携帯電話事業、ストレージデバイスの好調、テレビの改善等により増益

単位：億円
(対05年度)

PC

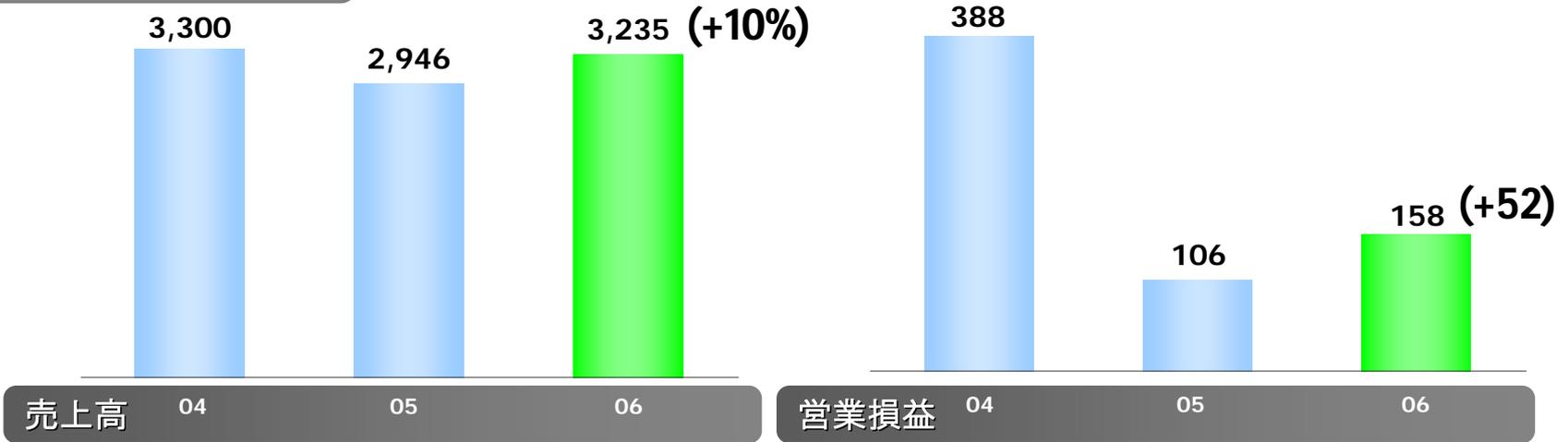


■ 海外、国内ともに売上が伸長し、増収

■ 為替(円安)の影響等により減益

単位: 億円
(対05年度)

電子デバイス

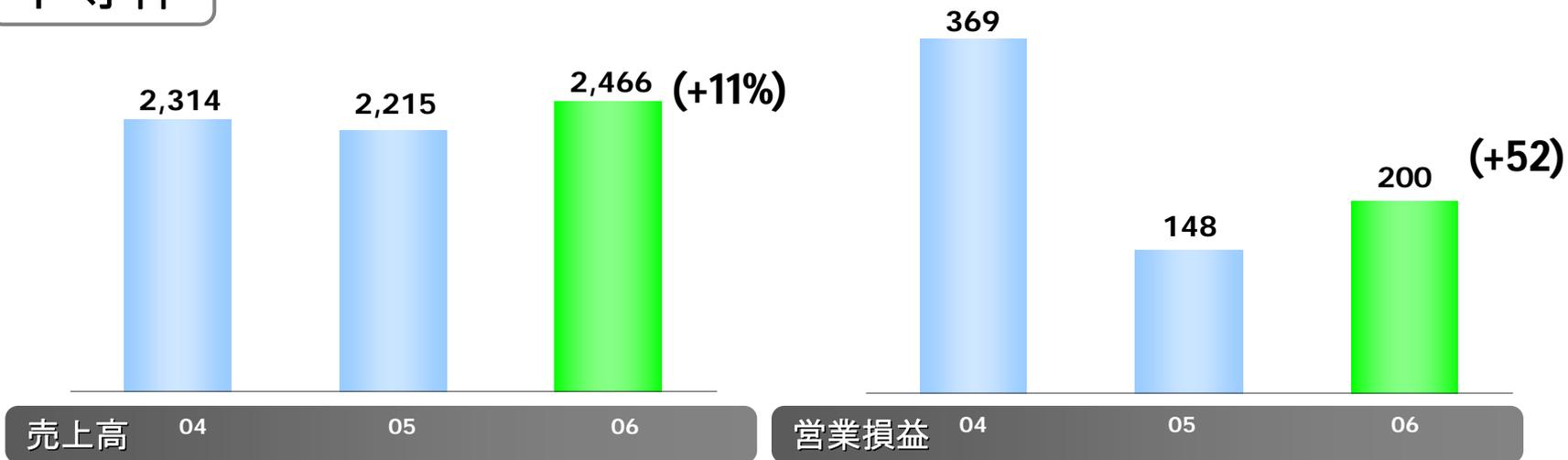


■メモリおよび携帯機器向け液晶の物量増に伴う売上伸長により増収

■半導体および液晶の改善により増益

単位: 億円
(対05年度)

半導体



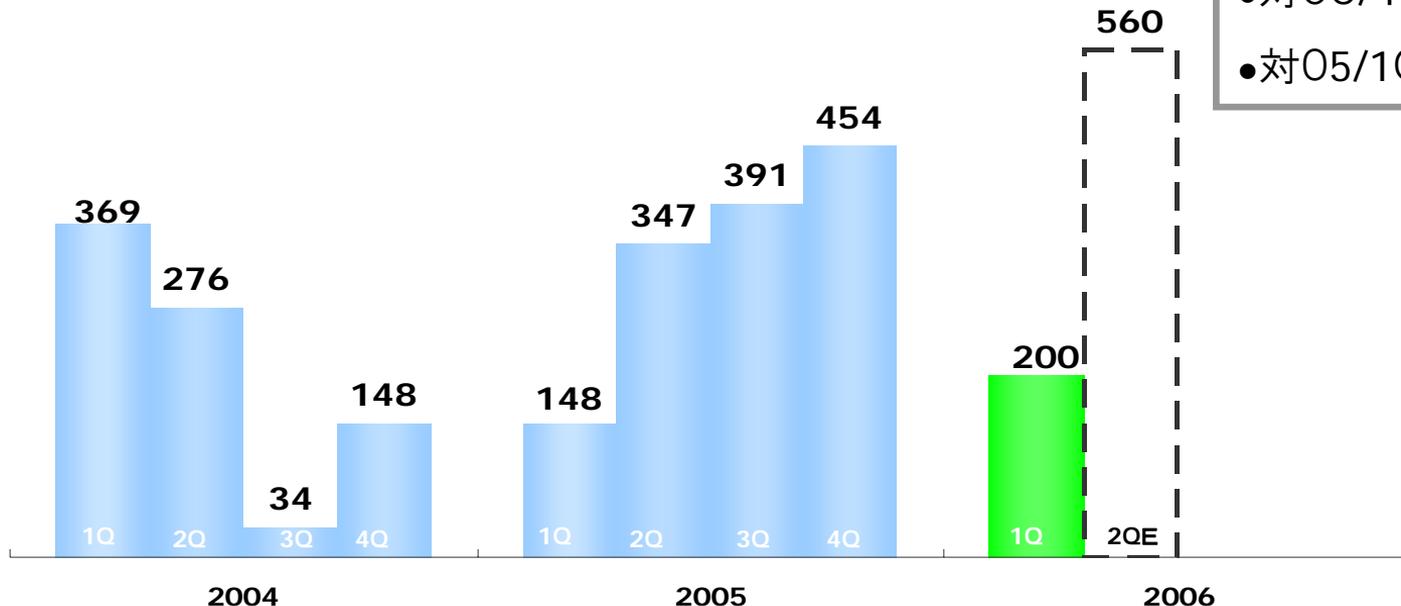
■メモリの大幅な伸長により増収

■システムLSIおよびディスクリートの改善により増益

単位: 億円
(対05年度)

半導体四半期別営業損益トレンド

06/1Q実績	200
●対05/4Q	-254
●対05/1Q	+52



● 06年度上半期は、期初計画通り推移する見込み

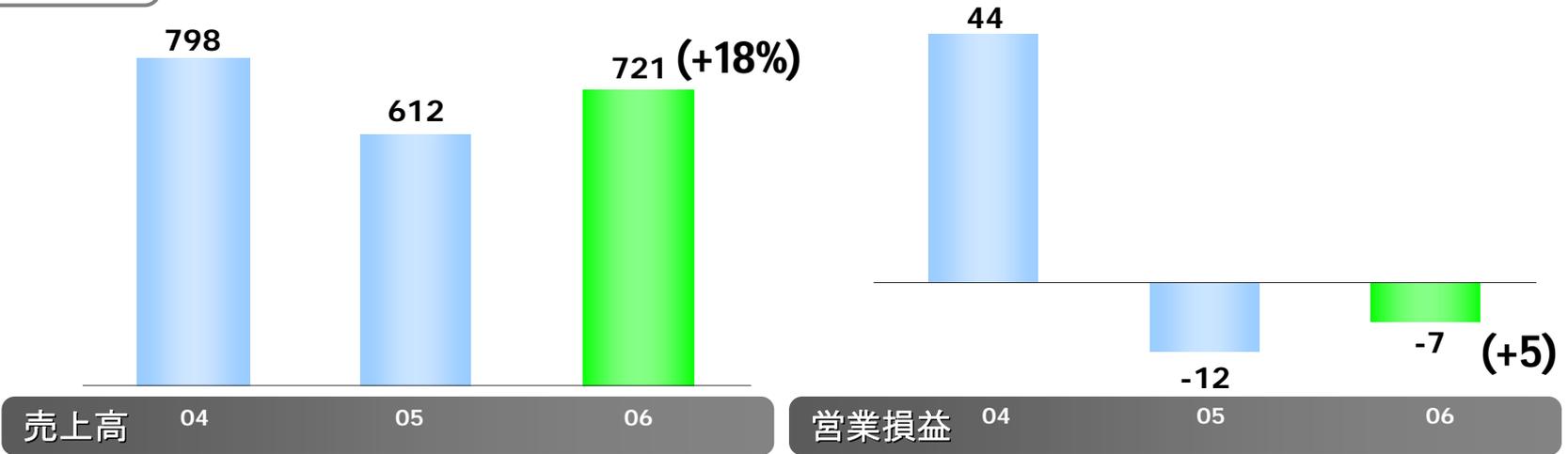
NAND型フラッシュメモリ

携帯オーディオプレーヤー、携帯電話、メモリカード等引き続き拡大が見込まれるNAND型フラッシュメモリ市場に対応するため、四日市工場に約350億円の設備投資を実施し、07年度上期末の第3棟の生産能力をフルキャパシティの月産11万枚とする。

* 設備投資額約350億円は、2006年度半導体事業への設備投資額3,540億円の内数

単位: 億円

液晶

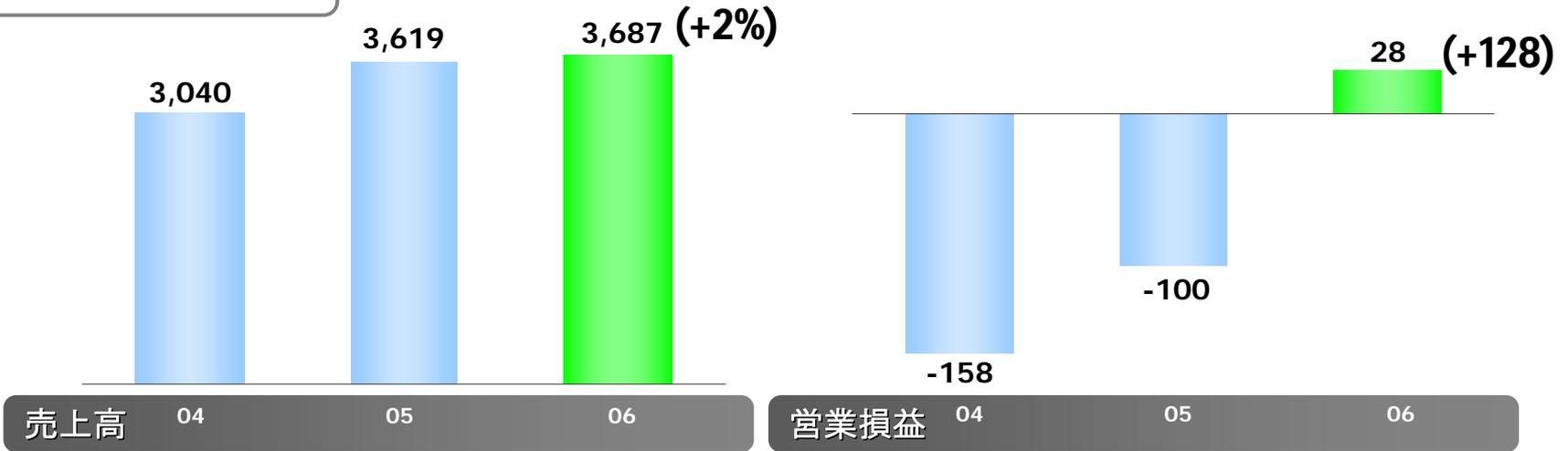


■ 携帯機器向け製品の伸長により増収

■ 携帯機器向け製品コスト改善と伸長により改善

単位: 億円
(対05年度)

社会インフラ



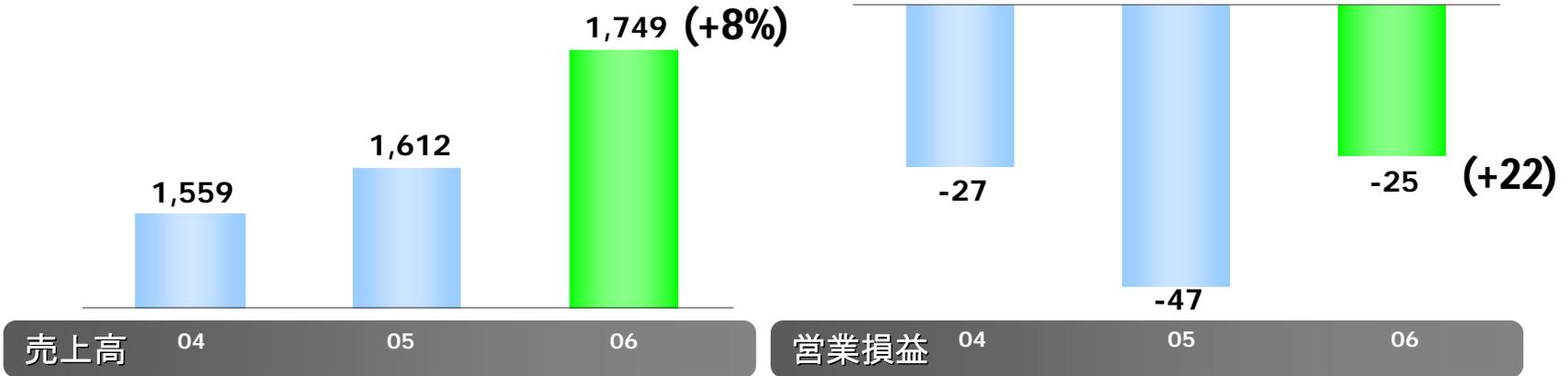
■原子力物件の減収はあったものの、放送システムや医用システム事業等が好調に推移し、増収

■放送システム、医用システムの改善により黒字確保

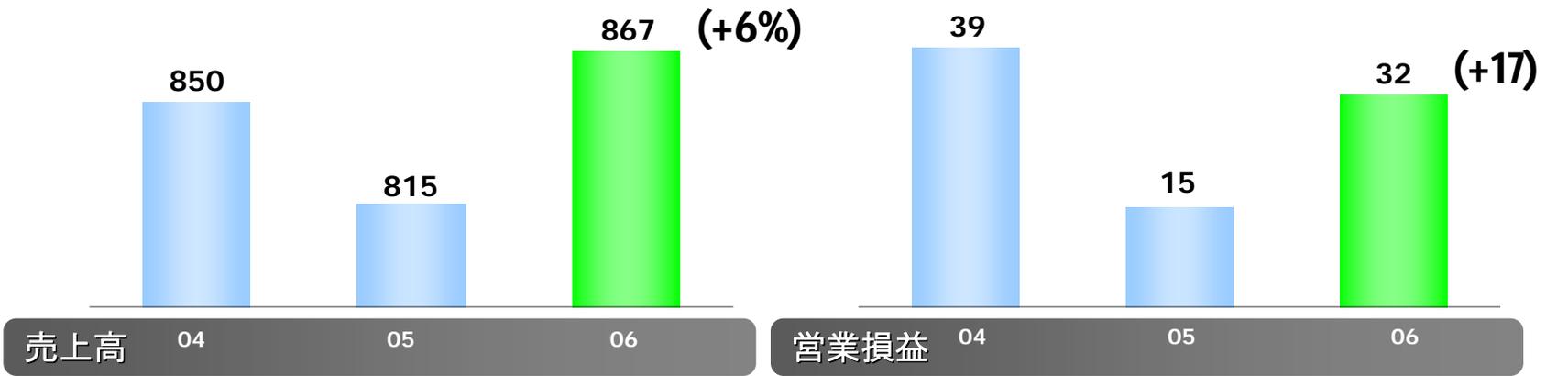
単位: 億円
(対05年度)

単位: 億円
(対05年度)

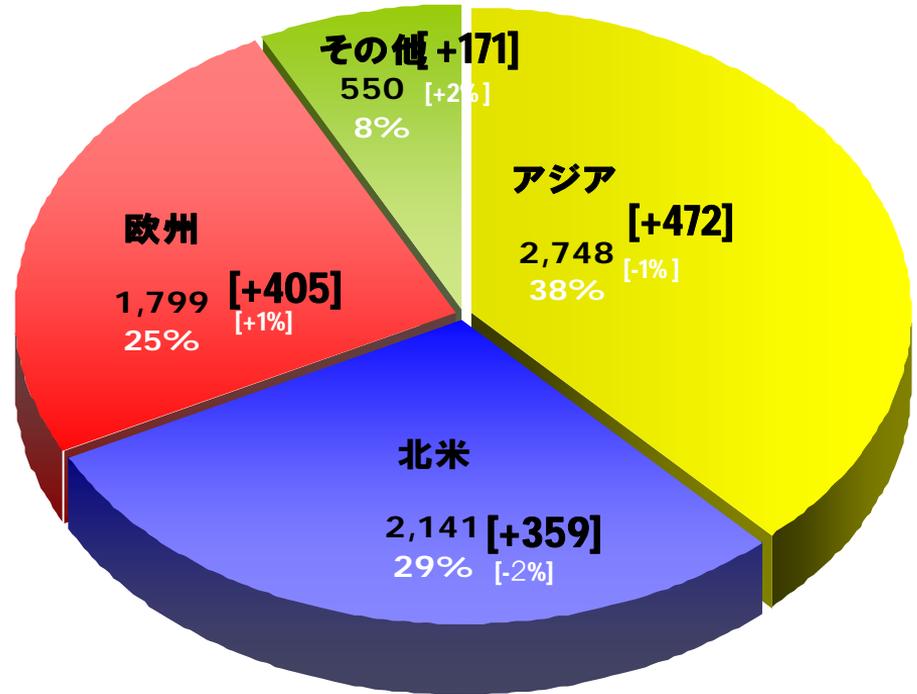
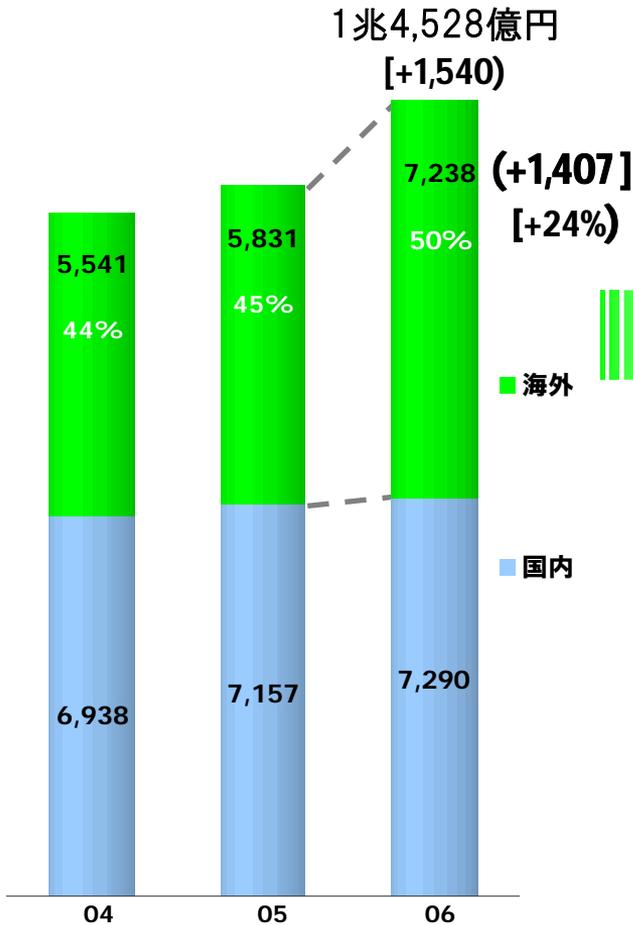
家庭電器



その他

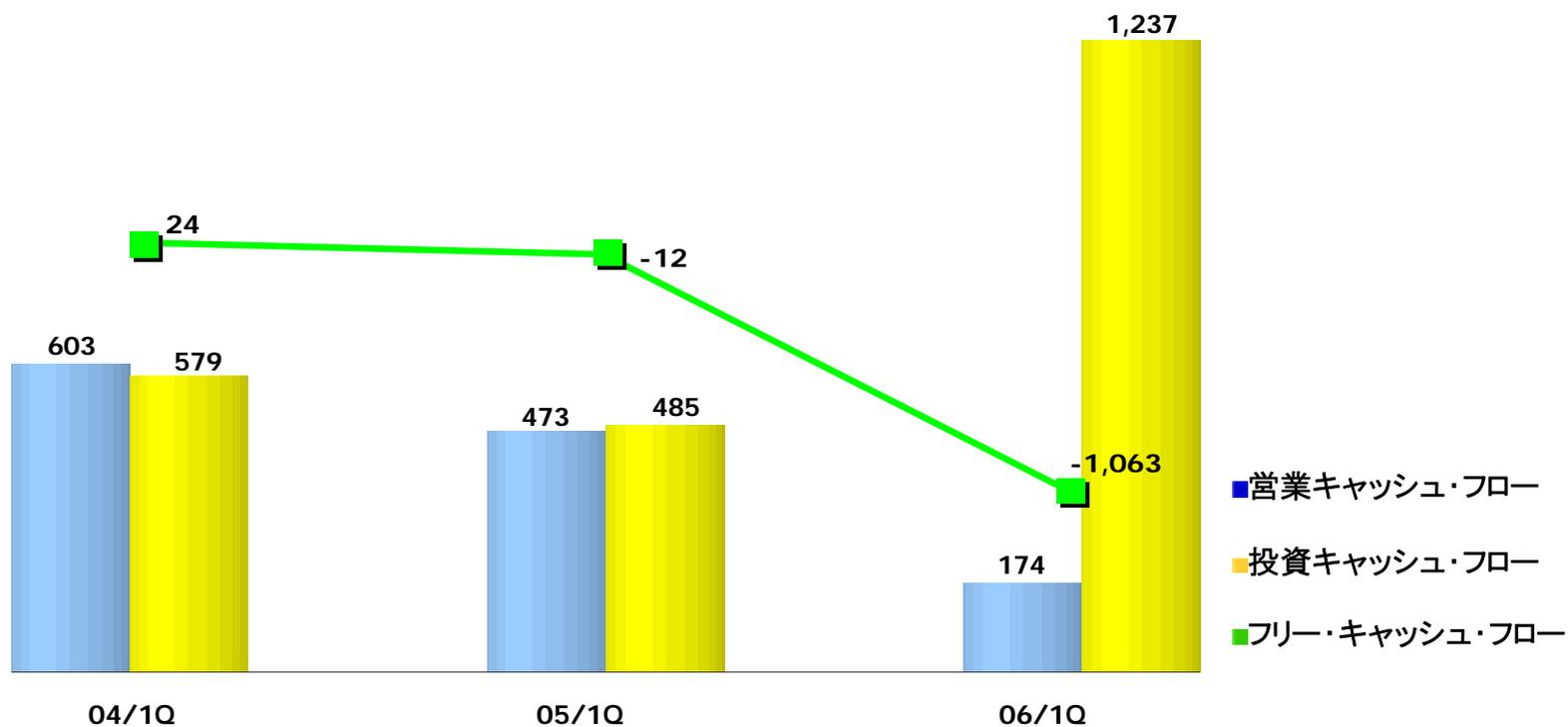


海外売上構成



単位: 億円
(対05年度)

キャッシュ・フロー

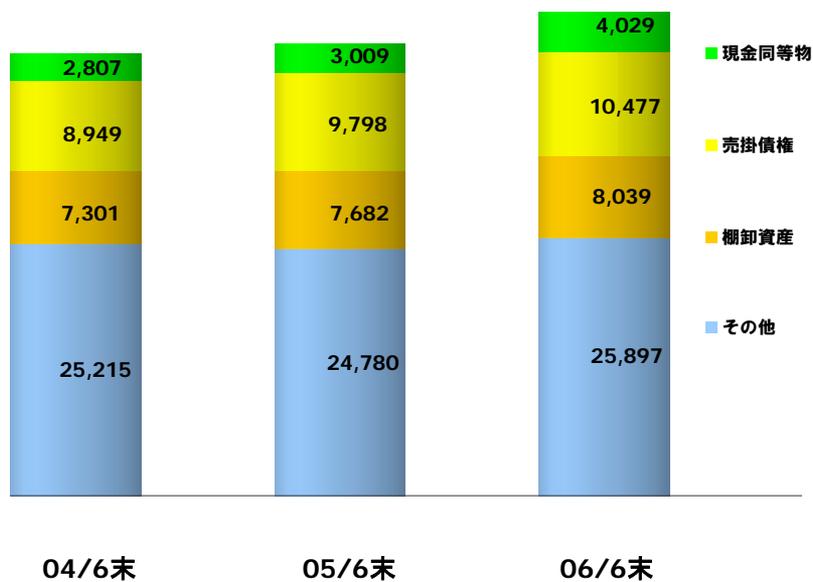


単位: 億円

貸借対照表

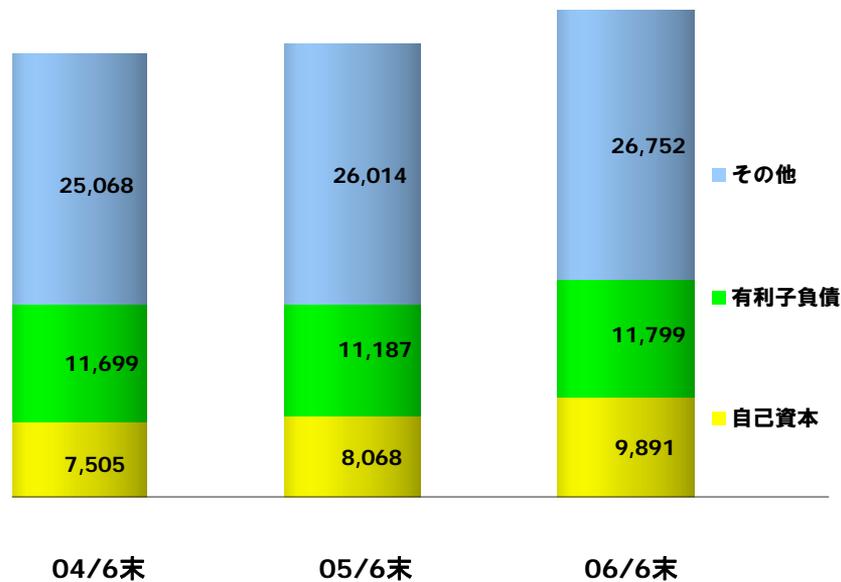
資産

4兆4,272億 4兆5,269億 4兆8,442億



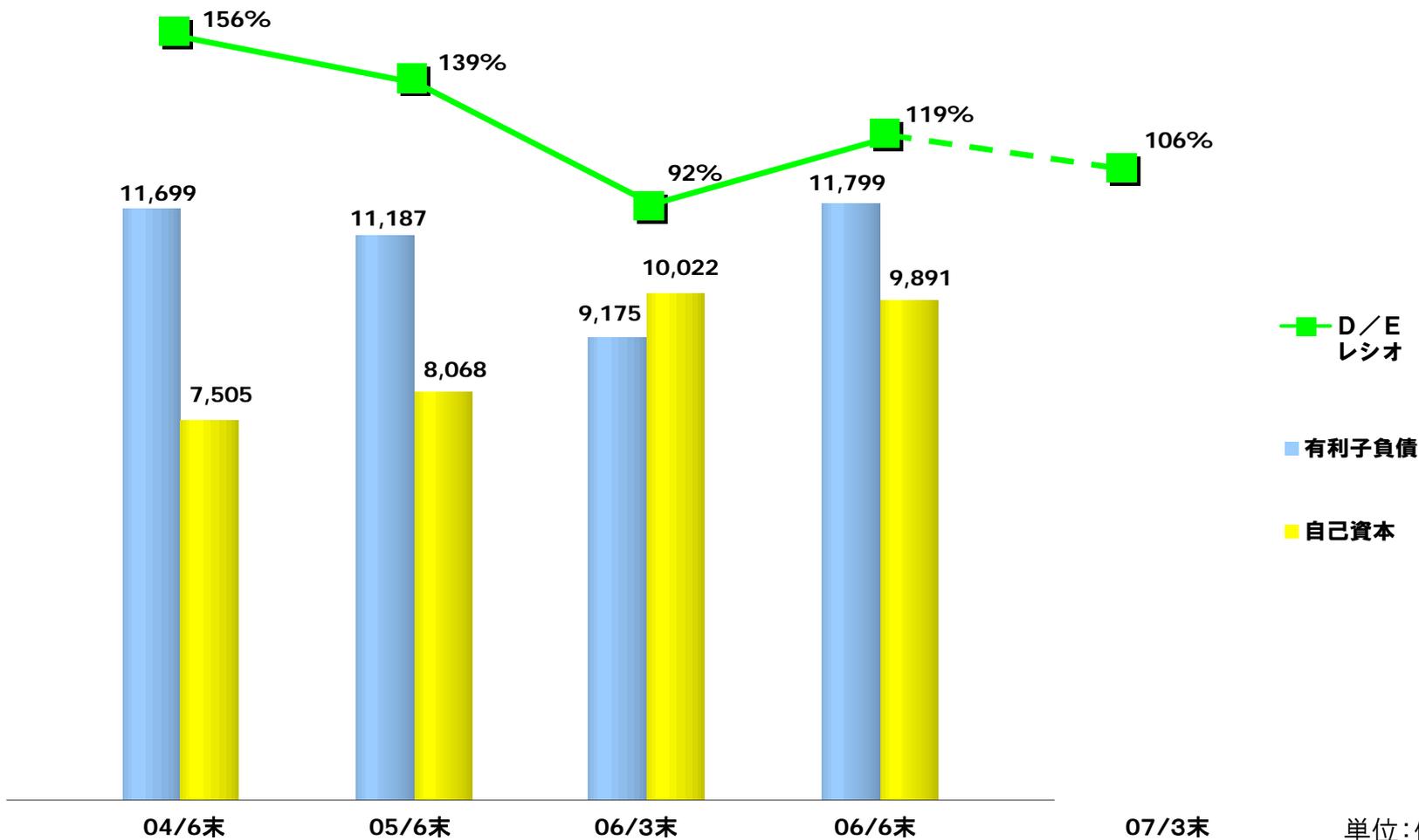
負債・資本

4兆4,272億 4兆5,269億 4兆8,442億



単位：億円

DEレシオ



単位: 億円

06年度上期見込

摘 要	06年度上期 見込	05年度上期	対05年度	
売 上 高	30,000	29,001	999	103%
営 業 損 益	550	514	36	-
%	1.8%	1.8%	-	
税 引 前 損 益	450	421	29	-
%	1.5%	1.5%	-	
当 期 純 損 益	150	146	4	-
%	0.5%	0.5%	-	

- 期初計画を変更しておりません

単位：億円

06年度見込 通期

摘 要	06年度 見込	05年度	対05年度	
売 上 高	66,000	63,435	2,565	104%
営 業 損 益 %	2,650 4.0%	2,406 3.8%	244 0.2%	-
税 引 前 損 益 %	2,200 3.3%	1,782 2.8%	418 0.5%	-
当 期 純 損 益 %	900 1.4%	782 1.2%	118 0.2%	-

- 期初計画を変更しておりません

単位：億円